ボーリング柱状図

調 **査** 鬼南海・南海地震予測のための地下水等観測施設整備工事(愛媛県 西予市地区)

ボーリングNo. 5 0 3 2 0 3 6 8 0 0 0

事業・エ事名 東南海・南海地震予測のための地下水等観測施設整備工事 (愛媛県西予市地区)

ボー	- IJ	ング	名	7L3 (30m7L)						調査位置	愛媛	県西予	市宇和	町山田	148-1							北	緯	33°	23'	08. 4	1823"	
発	注	機	関	産業技術総合研究所地質情報研究部						5門	調査期間 平成20年 4月28日~平成20年 5月 3日								東	経	132°	° 28' 56. 2798″						
調	査 淳	業 者	名	地熱エンジニアリング株式会社 電 話 019-691-9301						主任技術者	竜哉				高橋仁コア赤塚貴				京 貴卓	ŧ	ボーグ音	- リ 責 任	ンド	高橋	仁			
孔	П	標		214. 30m	角		0.		方	270' 90'	地盤	0 水平	使用	試錐	\neg	TBM8	88-LH			н			1/ 3	Z 11	н			
総	掘	進	長	30.00m	一 度	T 0		90"	向	西東	勾配	鉛直	機	ェン	ジン						ポン	, プ N	P700E					
						1 0		0 1	IHJ	180° 南	田山	90°	種_															
標	t	票	深	柱 岩	色	硬	コ	割厘	弧変	記				採取率		孔内		ジ	オ	ン	試	験	原	室	掘	進	状	況
				種			ア	れ						— (% コア長		水位	(ル	Р –	- Q		図		位	内	掘掘	孔 コ ア チ		送送排
尺	Ī	与	度	状				目の					1	c m			/ ^	P:有効					置		進速	/ =		水水水
				区			形	の 状						Q D	区]	定定月		Q:注入 ():換					試	試	月 Cm	ルブ 壁 / ルビ	圧数	圧量量
m	ı	n	m	図分	調	軟	状	態化	上質	事			0 20 40	0 60 80	分	1 / 3	値	(()):	限界圧力	b			験	験		体[.,, [MPa rpm	プ MPa 分 分
	1																											
	2																											
	3																								825			
	4																									210		
	5									 ノンコアボーリン	ッグのt=	め. 地													- 1 1	312 ケ / M し C	1 32 ₹ 40	泥 水 350
	6									質不明。															\vdash	シング		350
																									100			
																									Н			
	В																											
	9]0	0] (100)											750			
10	20	4. 30	10. 0			+	 	 	+	基質の粘土は黒褐 度10.00~10.17m			70	0] (100)											4 28		30	
1	1 20	3. 37	10. 9	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	黒褐	E	VII.	d a	1	及10.00~10.17mm 10.93mでは砂礫を コア欠如のため,	多量に	含む。			Ž										4 29		1 2 35	
12	1	2. 72	11. 5	で 砂湿り料	+		 		+	径 1mm以下の白~ 量含む。深度 12	. 10~12	. 25mで	• OL	0] (80)/														
Ē ,	3 20	1. 58	12. 7: 13. 1:	□□□ 粘土混り	黄灰		VII.			は砂の粒径が粗し。	とび白~	灰白色]0	0] (87)														
'	3 2	1. 10	13. 1.	沙礫			VI			砂岩からなる亜角 む。 深度13.12~13.60 ~14.43mでは径1	8m及び1	4. 00]0	0] (90)	←										120		1 45	
1				砂礫	灰		VII			〜角礫状の砂礫か 全体としてコア形 ないほど軟弱であ	ヽらなる 彡状を保 らる。粘	。 持でき]0	0] (92)	*													
11	1	9. 30	15. 0	砂混り料	i		VI			ごく僅か含まれて 基質の粘土は褐原 度15.22~15.76m	いる。 で色を呈	す。深端]0	0] (93)	*													
1	ĭI	8. 49 8. 30 7. 82	15. 8 16. 0	有機質:	上 暗灰 黒褐					の砂を60%含む。 深度15.81mでは役 片を含む。 礫は径4mm以下で		*	0[0] (94)											30		+	
11				~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ¥±+						<u>灰色を呈す。</u> 深度16.48~18.00 形状を保持できな	0mの粘: いほど	上はコア _労		0] (95)												C P M		無水
18	B 19	6. 30	18. 0	~~~~ 砂湿り乳		E		d a	ر ا 1	粘土は黄灰色を呈 基質の粘土は黄灰	呈す。	3;			*											c		
1	9 19	5. 82 5. 30	18. 4	土 ~~~~ ********************************	黄灰					の亜円礫状の砂 灰白. 緑灰色) を 深度18.85~19.0	(黒. 灰 <u>-70%含ま</u> Omの粘:	. 白~ 知 :: : : : : : : : : : : : : : : : : :		0] (96)	*										83		1	
				■ 20 有機質 ±			VII			ある。 基質の粘土は黄原	で色を呈	し,部		0] (96)	*													
20	19	3. 80 3. 50	20. 5							分的に褐色の土場 m以下の黒色木片 黒色の植物片、オ	を微量化	半う 。]0	0] (96)	*										5	86		
2		J. 50	20.0							深度20.80~21.0 幅の砂卓越部が高 分布。深度21.60	Omにはi i傾斜で	侵大30mm 脈状に]0	0] (97)											1		+	
2	2 19	2. 24	22. 0			-				挟む。 黒褐色や褐色のオ	、片 (径		or.	0] (97)													45	
2:	3 19	1. 30	23. 0	か得し来		-				下)を微量含む。 深度23.20~23.2	8m. 23.	50~23.			*										81		1 50	
2.	. I	0. 66	23. 6		黄灰					60mには黒褐色の 4mm以下の砂礫を	土壌を作	半う。径]0[0] (97)	*													

189. 51	24. 79	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	粘土	黄灰					果度24.00~24.71mの粘土はコア 砂状を保持できないほど軟質。 果度24.71mには痊4mm以下の砂礫					
188. 66	25. 64		礫混り有 機質土	黒					et 5。 保度 25.00~25.42ml=は径4mm以 たの亜角					
		~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	Wh. 4	黄 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展 展	E	VII	d d	χ 1	基質の粘土は黄灰色を呈す。 R 度 26. 12~27. 08m の粘土はコ・ ・	5.	81	6 M C	1 2 50	
184. 30	30. 00	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~		黄灰					深度28.08~28.30mでは径4mm以 下の砂礫が微量混在する。 深度28.84mでは径 4mmの黒色木 十を微量含む。 深度29.61~29.87mには最大幅 の[0](98) ** の[0](98)	5/3	429		1 30 45	1